

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	あおいの理念及び理念に伴う基本方針を1F・2Fの玄関、事務所に掲げている。	○	ご家族及び来客の方々が目につく場所に設置する事によって、あおいを理解していただく事に繋がっていただければ幸いです。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	朝・夕理念と基本方針を職員全員で唱和し、少しでも実践出来るよう心掛ける。		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	家族会や運営推進委員会会議で、ご家族や地域の方々のご理解を頂ける様、説明及び質問を受けて理念の推進を図る。	○	昨年より理念の掲示を大きくし、職員の行き帰りにも目に入る様にとする思いで設置する。
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	主なホームの行事等に地域の方々を招待している。反対にご近所の花作りの方々からの招待を受ける事も多い。開設以来3年が経過し、隣近所との付き合いもスムーズになって来た様である。	○	今後増々よりよい関係・日常的な付き合いが出来る関係を築いていきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	昨年から地域の総会・運動会・草刈等に参加し、出来るだけ地元の人々との交流を持つ様にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>もっと野菜・花作り等で地域の高齢者(実際に花・野菜作りを続けている方々)に手ほどきをうけて行けたらと思う。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>今年は自己評価及び外部評価は職員全員参加で取り組んでいる。当ホームは3つの担当に別れて取り組んだ。(施設長・介護職・看護職)</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>昨年から、当ホームの介護職・看護職・事務職・給食室の管理者の参加で、あおいの介護内容を外部に知って頂く良い機会であると考えている。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>当ホームに入所困難な方の転居先の相談ののって頂く等お願いをして行きたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>常にスタッフには、虐待をしない・行なってはいけないと言う意識を持ち続けて行かなければならない。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は管理者・介護者・看護者・事務職と入念な説明等に対応している。解約時も、ご家族の決断をしっかりとっての上で行なうこととする。解約時には特に十分に納得して頂いた上で行なう様にしている。</p>	○	<p>入居の際十分な聞き取りが出来たと思っても、入居後聞き取りと資料と随分違う入居者の状態があるので、より深い面接・聞き取りが必要であると考え。入居者の転居の際は、当ホームが次の住居及び入居先を探す事とする。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>直接意見・不満・苦情を利用者が訴える事は困難であるので(中には数名おられるが)職員が可能な限り、利用者様の表情・言動を見極め、対応出来る様務めている。</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月毎に宛てたホームの通信に利用者様のホームでの様子、担当介護士の交代時のお知らせ、健康状態を掲載している。又、請求書発送時に小口預かり金の現在残高もお知らせしている。</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談員(元民生委員・深町輝子氏)を設けている。又は家族代表の方にも電話等で相談される事もある。直接運営者に言ってく事が理想ではあるが、現実には難しい様である。</p>	○	<p>ご家族が何でも言える雰囲気を作って行く事が大切でと考えるが、少しづつ(以前に比べ)出来ている様に感じる。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議・運営推進会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。意見をまとめて記録し、より良い運営を推進する機会であると考え。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の病気・入院には他の職員が変わる等の対応で調節を行い又、職員の家族の病気・入院等の場合も出来る限り対応している。</p>	○	<p>勤務状態の平均化・平等化を念頭に置き、職員の希望を聞き午シフト作成にあたり、又あおいの大きな行事には全員出席等で対応している。(夏祭り・クリスマス)</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>あおいが魅力ある職場である事が職員の離職を防ぐ事に繋がると考えるが現実には色々と難しく苦慮しているのが事実である。利用者へのダメージを防ぐ配慮としては、職員の急な離職は避けてもらい、新しい職員との引継ぎをうまく行う様にしている。</p>	○	<p>離職の理由を利用者にも分かり易く説明する様にしている。新しい職員に早く利用者を覚えて貰う様にしている。方法として 利用者のファイルをしっかり勉強して貰うことにしている。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員採用にあたっては、性別や年齢等で判断していない。当ホームでは70歳以上1名、定年後の職員2名と豊富な経験を生かして後進の指導にもあたっている。</p>	○	<p>畑や野菜作りが得意な能力をホームの畑で無農薬の野菜・花作りに精を出して貰っている。天気の良い時には利用者の参加もあり、嬉しい状況であり続けていけたらと願っている。</p>
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>利用者のファイル等は人目に触れないキャビネットに保管し、利用者の人権を守っている。あおいだよりの写真掲載時には、ご家族の許可を頂く様にしている。(個人情報保護法により)</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>あおいの職員は比較的年配者が多いが、市・県・グループホーム協議会等の研修及び勉強会は若い職員の出席を促し出来るだけ勉強の機会を作っていきたいと思う。</p>	○	<p>日常の業務に追われ職員育成の機会が充分でない事が不安であるが、出来るだけ時間を作って行きたいと思う。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の管理者及び職員との交流を持ち情報交換する事が当ホームのサービス向上に繋がると考える。</p>	○	<p>今後一層の交流を計りたいと思う。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員のストレスを軽減する事が利用者へのより良いケアに結びつくものと考えてるので、当ホームでは音楽会・食事会等を企画しストレス軽減の対策の一つになればと思う。</p>	○	<p>もっと多くの機会を持ち、職員のストレスの軽減に繋がりたい。将来、職員との旅行にと言う計画も持ちたいと思う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の個々の努力や実績を認め、正しい評価をする事が利用者へのより良い介護に繋がって行くのではないかとと思う。より良いケアが出来ている職員には、給与・賞与等考慮している。</p>	○	<p>頑張る職員が落胆しない様な働き甲斐のある給与体制を整えていく様、考慮していきたい。</p>
<p>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>入所までに情報の交換を何度か行い、本人がグループホームでの生活を理解して頂ける様努力する。本人自身との信頼関係が築ける事を第一に考え、困っている事・不安等の解消に心掛けている。</p>	○	<p>左の取り組み事実を更に深く推し進めて行きたい。</p>
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>ご家族来所時には入居者の状況を伝え、家族等が困っておられる事があれば記録に残し、スタッフ全員が把握出来る体制をとっている。</p>	○	<p>出来るだけ、ご家族が不安や困った事等を気軽に話して頂ける様な職員の雰囲気を作って行けたらと考える。</p>
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>ホームの入居の条件に合うか情報を伝え、家族と本人に入所の希望を判断して頂いている。 ケアプラン作成の中で、担当スタッフ・ケアマネ・他のスタッフとカンファレンスを開き支援に努めている。</p>	○	<p>日帰り・一泊二日を体験される事も良いのではと考える。</p>
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>ホームに馴染んで頂く一つの方法として、ショートステイに取り組んでいる。利用者の好みや趣味・生活暦をしっかり聞き取り、出来るだけ早くホームの雰囲気に慣れて頂く様にしている。</p>	○	<p>体験入居も取り入れている。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>1日の流れの中で、本人の能力に応じお手伝いをして頂き、協同作業の中で本人には働く喜び・人の役に立つ喜びを味わって頂いている。レクリエーション・散歩・各行事を本人とスタッフと一緒に参加する事でコミュニケーションが取れ、またお互いに助け合える関係を築いている。一年を通じて畑で作物を育てる過程において入居者の方から手入れの仕方等を教えて頂きながら、収穫の大変さや喜びを味わっている。</p>	○	<p>本人(利用者)の状況・情報をしっかり把握し、ホームでの生活に生かしていける様に支援して行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	○	<p>行事等にもっと家族の参加を呼びかけ、協力をお願いして行きたい。</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	○	<p>出来るだけご本人の希望を叶えて差し上げたいので、その旨ご家族にお願いする。</p>
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	○	<p>大勢の方が気軽に訪れてもらえる様、働きかけたい。</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	○	<p>大人しい性格の方、認知症の利用者は孤立になりがちなので、見守り・対話・小さな変化にも気を配って対応していきたい。</p>
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	○	<p>ホームの行事等に退所されたご家族が参加される事もあり、このような関係を続けて行けたらと思う。</p>
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	○	<p>もっと外出やレクリエーションを増やして行けたらと思う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(1人の例として) K氏は家庭的で、お盆拭きや洗濯物たたみなど、身体的にも安定した日常生活が送れる様に努めている。</p>	<p>○</p> <p>他の利用者にもより良いケアの提供に取り組んでいきたい。</p>
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>個々の1日の記録(過ごし方や心身状態)毎日の検温・週1回の血圧チェック・月1回の体重測定・残存機能の活用を図る為、個々のADLの観察見守りを行い、必要に応じて記録する。</p>	<p>○</p> <p>障害の有無を確認する。趣味や利用者の希望を聞き取り、出来る事から援助する。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎朝朝礼時のカンファレンスで、現在の問題点を話し合いその結果を家族に相談し、意見を聞き介護計画を作成している。</p>	<p>○</p> <p>面会に見えた折にお話する機会を得ているが、もう少しご家族とゆっくりお話する事が出来ればと思う。</p>
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎日の申し送り後のミニカンファレンスや、問題発生時はその都度本人の意向を聞き、家族へ連絡し話し合いを密にし、介護計画の見直しを行っている。</p>	<p>○</p> <p>ケアの変更等があった時は連絡ノートに明記し、スタッフ間で情報の共有は行っているが、ケアプランの変更が即出来る様、記録の時間をもちたい。</p>
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>問題・異常時には速やかに記録をしカンファレンスにかけて検討し、介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>○</p> <p>日常の業務に追われ気付いた事や工夫・ケアの実践の記録を漏らす事のない様に気をつけたい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>グループホームの隣に一昨年9月よりデイサービスを開設し、グループホームの職員及び利用者とデイサービスの職員及び利用者と一緒に行事を行い、(クリスマス・雛祭り・長寿の祝い・花見等) 他に外食やドライブ・地域の散策に出掛けている。</p>	<p>○</p> <p>最近、デイサービスの人数が増えて一緒に行えない行事も出てくると思うが出来るだけ助け合い柔軟な支援が出来たらと考える。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	<p>〇地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>ホームの運営・活動には、民生委員・ボランティア・警察・消防・文化教育機関との協力が不可欠である。当ホームでは前記の機関といつも良い関係を築き、今年は新しく近隣の金武幼稚園に働きかけ、園児の訪問を受け入れる事とする。他に月一度民謡教室(先生3名来ホーム)と、年に4回のピアノと声楽の先生の「歌おう会」を催している。</p>	○	<p>これからも、民生委員・ボランティアの方々の見守り等が大切になって来る為、皆さんの支援をお願いしたい。</p>
43	<p>〇他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域の他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを持ち、支援を広げて行きたい。現在は他のサービスの活用支援は、受けていない。</p>		
44	<p>〇地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>以前は、地域包括支援センターとの協働は運営推進委員会のみであったが、入居継続が困難な利用者の相談等をさせて貰っている。</p>	○	<p>今後とも、地域包括支援センターとの交流を密に持ちたいと思う。</p>
45	<p>〇かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の意向を伺い主治医を決定し、かかりつけ医との連絡を密にしている。急変時はかかりつけの指示のもと、受診及び往診して頂いている。あくまでも本人・家族の意向を尊重している。受診を理解出来ない利用者には、採血・諸検査時に必要に応じ意志の指示のもと適切な介助を行っている。</p>		
46	<p>〇認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>個々の主治医が対応出来ない場合は、専門医への紹介を取り付け受診する。</p>		
47	<p>〇看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>当ホームは3名の看護師が看護にあたり、医療連携を結んでいる訪問看護ステーションに24時間体制で急変時の相談をし、指示をもらっている。週1回の訪問看護も受けている。他、ターミナルの方は個々に対応して頂いている。</p>	○	<p>訪問看護ステーションが緊急時24時間体制で対応して貰える為、夜勤者には大変心強い。2月にターミナルで利用者を見送ったが、心強かったと職員からの声があった。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>病気や転倒などで入院される利用者が少なくなる様に観察・見守りを行い異常を早期に発見する様に努める。</p>
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>事前に家族のアンケートを取り、急変時に救急車による病院搬送を行い病院で看取るか、ホームでターミナルの看取りを行うかの方針を伺い情報を共有している。ターミナルの看取りについて、訪問看護より研修会を開いてもらっている。</p>
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>家族がホームでターミナルケアを決断された時、家族の支援も必要だと考える。</p>
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>利用者が当ホームより、より良い環境(他グループホーム・他施設等)を捜して差し上げる支援も行っている。1日の中での様子の観察・声かけや手を握ったり体に触れる事で安心感を与えられる様にしている。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>全職員がプライバシー保護の重要性を理解し、一人ひとりの人格を尊重した言葉をかけ、ケアを行っている。記録等が他者の目に触れない様にしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	より深く利用者を観察しながら本人の思いや希望が表せる様な問い掛けを行っていききたい。
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	拒否時は暫く時間をおいて、再度声かけをする。利用者とのコミュニケーションが大事である。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	行事の際にはお化粧を施し、洋服選びはスタッフが支援する。
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	食事は楽しい事である事を理解して頂く為、どうしても嫌いな食事内容は可能な限り変えて対応する事もある。
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	毎日の業務に追われているが、手作りおやつ回数を増やして行きたいと思う。
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	一人ひとりの排泄パターンに合わせて日中は布パンツ・パット、夜間は紙パンツ・大パットを使い分けている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>基本的には無理強いしない様になっている。拒否が続いた場合は気分転換を図る等対策を考えて入浴を勧める。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>起床時間の遅い利用者は、自由にして頂いている。最近では自分から起きられる意志が見えてきている。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>散歩の声かけをしたり、レクリエーションに誘ったり体を動かす事で気分転換をはかって頂いている。レクリエーションは人によって内容が変わってくる。人それぞれ可能な限り対応して行きたい。 不安や混乱が見られる場合は、得意又は楽しみ事で気分転換出来る様に努める。</p>
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	○	<p>買い物等に利用者を連れて行く際、自分で支払いをして貰ってはどうかと考える。利用者が買い物を希望される場合は、職員が同行し、ご家族から預かっている預かり金の中から職員が支払っている。</p>
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	<p>もっと利用者に添う対応をして行きたい。</p>
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>希望時には対応していきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を作成し出された。 本人の希望時には電話をする事を家族に了解して頂き、電話で話され安心される。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や知人・友達等が気軽に来て貰える様な雰囲気を中心掛けている。来客時は、お茶・お菓子で穏やかに和やかに話しが進む様支援している。	○	話の様子次第でスタッフが入る事もある。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	本人の事故防止の為のケアが身体拘束にならない様に見守り強化・代替によるケアの学習方法の共有を行っている。(勉強会等で)		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が帰宅願望が強度となり、不穏状態出現時は、スタッフ同志声かけを行い見守りを強化し、玄関のみ簡単な鍵のみ使用している。利用者の居室・玄関に鍵をかけないケアをする事を基本としている。	○	利用者の帰宅願望が強い時は、玄関に簡単な鍵を使用している。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	現在当ホームには徘徊者はおられないが(2月に他界)他の利用者の方も、その日によって外出願望が強く1人で出て行こうとされるので、転倒がない様にしっかりと見守りし、出来る限り一緒に散歩等で対応している。	○	入眠剤使用で夜中のトイレ時にふらつきのある利用者は看護師の指示のもと、薬の使用を控える等で対応している。
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁は一律にしまっているが、手洗い洗剤・消毒剤等利用者から見て理解出来ない物は物陰に置く。	○	未使用の物は倉庫に収納している。使用する場合はその都度倉庫から出して使用している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	更なる見守り強化に努めていきたい。
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	いざと言う時役に立つ様、定期的訓練を行なって行きたい。
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	いざと言う時を想定して、危機感を持って訓練を行ないたいと思っている。
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	○	副作用を起こす恐れがある時は、申し送りノートに記入し、情報を共有する事になっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	○	<p>食事時・おやつ時に、お茶・紅茶・コーヒーなど品を変えて飲んで頂く。積極的に声かけを行う。腹部マッサージなども、もっと取り入れて行きたい。</p>
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	<p>身体機能に応じた自助具の活用によって食事の自力維持につなげて行きたい。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	○	<p>インフルエンザ・ノロウイルスなどについては個別に強化マニュアルを作成する。</p>
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	○	<p>・保存食の実地 ・食材料の品質温度チェック</p>
(1)居心地のよい環境づくり			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		<p>建物周囲には、木々・花々が明るい環境を演出している。庭を元気に駆け回っている愛犬に犬の散歩をしている近隣の方々が近寄って来られ、入居者と挨拶をされる事もある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	椅子を引きずる不快な音の防止対策等、快適な空間を作っていける様、職員間話し合う。これからもより良い空間作りを考えていきたいと思っている。
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	○	リビングでカラオケも楽しめる。
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	本人にとって過去は財産です。個々のご希望に対応しています。
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	居室の温度調節は、利用者の体調に合わせて対応している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	浴室・要所の手すりの設置で対応する。
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	毎食後、自分の食べ物を犬にあげる事があるのでご家族と話し合い、別に多く作る等いくつかの方法をとっている。
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	4. 5月は年中で一番季節の良い時期であるので、出来るだけ外周りに出掛ける機会を作りたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホームの横を流れる室見川。廻りの山々と自然に恵まれた環境の中で3年前に開設するが、当初は軽度な入所者も少しずつ重度化が進み対応も厳しいものになってきている昨今である。私共のホームの特色はと問われると、何と言っても食事を第一に挙げたい。認知症は進まれても美味しい物は美味しいと感じて頂けると信じ、出来るだけ自然の物を取り入れ（ダシはいりこ・昆布・かつおで取り）調味料は手作りとお拘っている。食事の時間は入居者の方々の穏かな表情を見て、この拘りを持ち続ける事が入居者の方々に喜んで頂ける大切な事だと考えるのです。